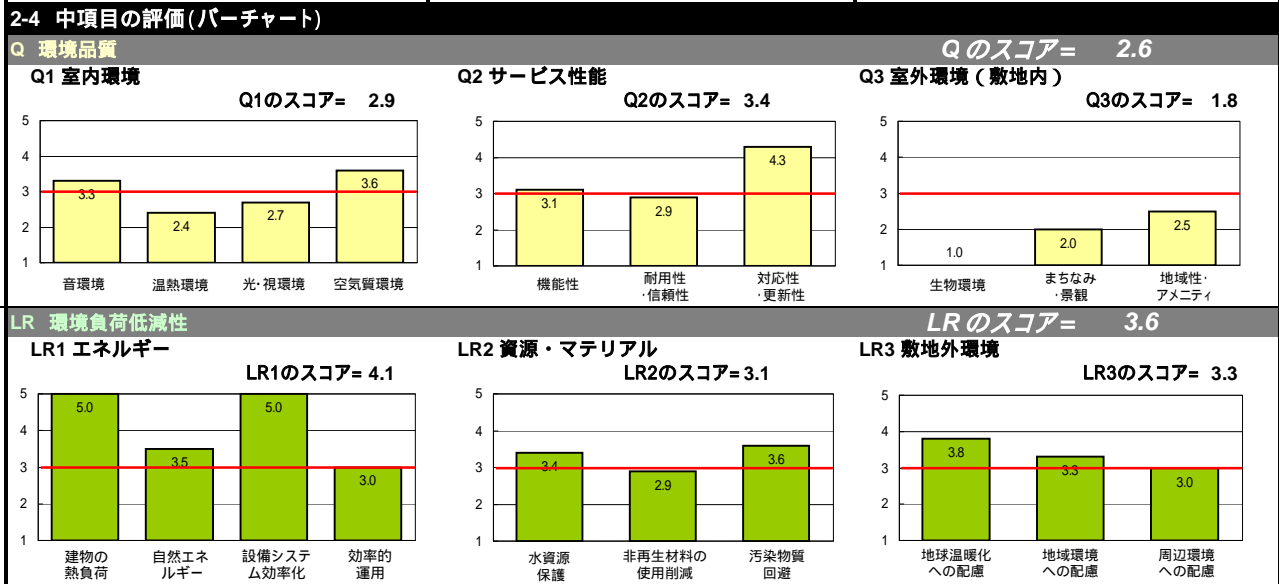
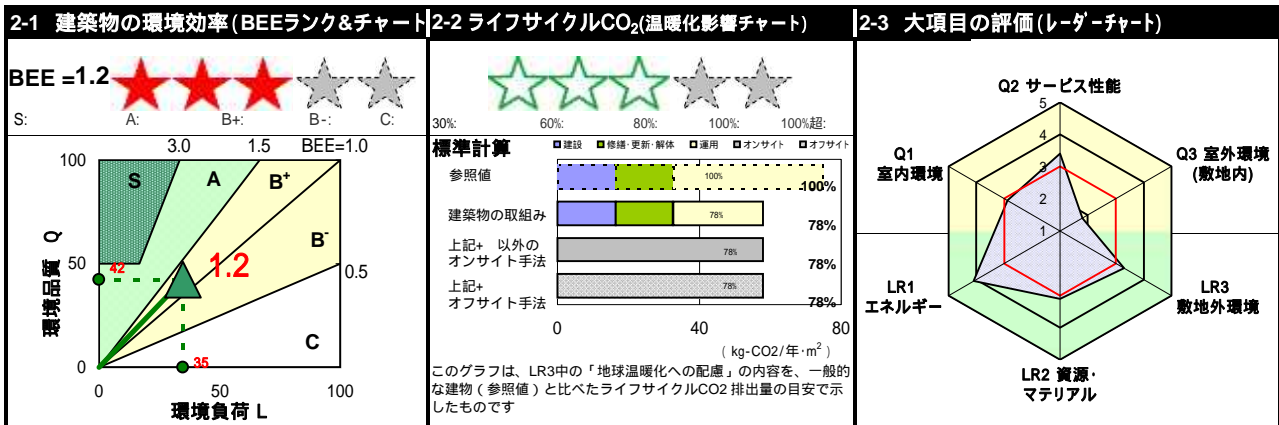


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	トープラ秦野工場	階数	地上 2F
建設地	秦野市首屋字首屋原118番1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	160人
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,600時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年7月 予定	評価の実施日	2012年1月11日
敷地面積	8,431 m ²	作成者	大成建設(株)
建築面積	3,946 m ²	確認日	2012年1月13日
延床面積	7,760 m ²	確認者	大成建設(株)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
"工場として効率、安全、安心を具体化する設計となっている。周囲に緑を配置し、従業員、地域の方々に対して癒やしの空間を提供している。"	0
Q1 室内環境 遮音性、吸音性に優れた材料を使用する。	Q2 サービス性能 耐久性、補修性に優れた材料を使用する。
Q3 室外環境 (敷地内) 運用上必要な部分のみを舗装とし、それ以外をできるだけ緑化に努め、植栽を施している。また、雨水の浸透排水に努めている。	
LR1 エネルギー 高断熱建材を採用し、建物の高断熱化をはかっている。トップライトを採用し、自然エネルギーの利用を計画している。	LR2 資源・マテリアル 汎用性の高い材料と高性能で効率のよい材料をバランスよく採用する。節水器具を採用し、水資源の保護を図っている。
	LR3 敷地外環境 燃焼機器の採用を控え、大気汚染防止に寄与している。周囲の緑化に努め、周辺に対して影響を抑制する計画となっている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい